



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2025年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、老朽化した特殊浴槽を更新することができ、これまで以上に安心安全で快適な入浴サービスを提供できるようになりました。また、職員の負担軽減にもつながりました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益財団法人 JKA 様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様には謹んで感謝の意を表します。

記

事業名	2025年度福祉機器の整備
事業の内容	特殊浴槽の整備
補助金額	4,752,000 円
実施場所	福島県喜多方市字蒔田 3106 番地の 2 介護医療院いりさわ
完了年月日	2026年1月21日



社会福祉法人 啓和会
理事長 入澤 貴子

介護医療院

いりさわ

特殊浴槽が新しくなりました！

この度、公益財団法人JKA様の補助事業「2025年度福祉機器の整備」により、競輪の補助を受けて老朽化した特殊浴槽を更新することができました。

入所されている皆様へ安心安全でより快適な入浴サービスを提供できるようになりました。また、職員の負担軽減にもつながりました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益財団法人JKA様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様には謹んで感謝の意を表します。

施設長 千葉香世子



この特殊浴槽は、立位や座位の保持が困難な方でも、安全かつ快適に入浴していただけるよう設計されています。高齢の方や障がいをお持ちの方が、安心して入浴できるよう特別に設計された福祉用機器です。湯船の縁に座ることが難しい方でも、電動リフトにより横になったままや、座ったまま安全に浴槽へ移動することができ、入浴中の転倒や身体への負担が大幅に軽減されます。温水循環装置や自動洗浄機能も備えており、常に衛生的な環境を保てることも大きな特長です。



社会福祉法人

啓和会

ホームページ

<https://keiwakai.net/>



<自己評価1回目>

補助事業者名	社会福祉法人啓和会	事業項目名	特殊浴槽の整備
--------	-----------	-------	---------

JKA補助事業 2025年度 自己評価書

補助事業の自己評価

作成日	2026	年	3	月	18	日	作成者	佐藤 学
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画書の達成状況等を把握し、分析・評価してください。

(1) 受益者とそのニーズ	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	予定どおり、特殊浴槽を導入した。機種選定から見積合わせもうまくいき、計画通り納入できた。納入後、週4日稼働している。				
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	見積合わせによる業者選定まで順調に進み、無事に導入することができました。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2026年2月	[達成状況] 120%	[具体的内容] 目標値が2026年2月としていたが、1か月早く導入できた。	5
	事業の成果・波及	[達成値] 1日の利用者数40名	[達成状況] 75%	[具体的内容] 入所者数の減と身体的理由により、1日の利用者が30人となったため75%とした。	3
(4) 広報計画	事業の実施結果	[達成値] 1. 1回 2. 1回 3. 1回	[達成状況] 1、100% 2、100% 3、100%	[具体的内容] 1、競輪バナー、補助事業のバナーをトップページに掲載し、補助事業完了のお知らせに掲載した。 2、広報誌を作成し、ご家族に配布した。 3、法人のInstagramに掲載し、幅広い周知を行った。	4
(5) 自己評価の体制	予定通りアンケートを実施し評価メンバーにより評価を行った。自己評価の結果についてはHPに掲載予定。			4	

(b) 総合評価

総合
評価点

4

●(a)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

(1) 事業全体についての意見・所感	計画どおり入浴装置及び担架とストレッチャーを導入し、老朽化した入浴装置を新設備に順調に入れ替えることができた。これまで以上に入所者の入浴において安心安全で快適なサービスを提供できるとともに、職員の介護負担軽減にもつながった。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	事業実施については、目標値よりも早期に導入でき入所者や職員からも高い評価をうけた。 アンケート実施について、重度化した利用者が多く回収率が悪かった。
(3) その他アピールしたい点是非知ってもらいたい点	入浴装置が老朽化していたため、修理も多く外観もよくなかったが入替によりすべて解消された。

補助事業者名	社会福祉法人啓和会	事業項目名	特殊浴槽の整備
--------	-----------	-------	---------

JKA補助事業 2025年度 自己評価書

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に具体的に記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
	*		(16) 特になし		